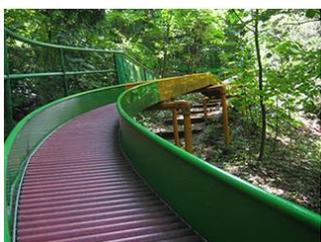


私のおすすめスポット

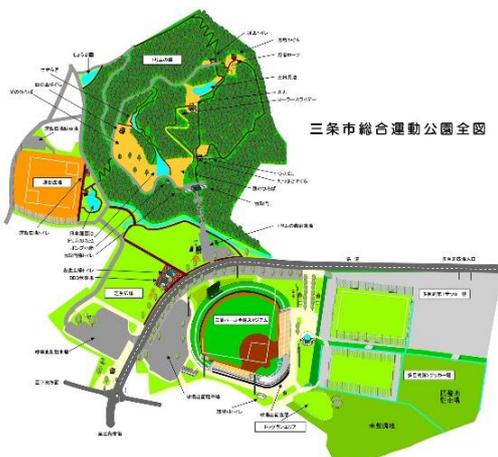
今年4月から入会させて頂きました浅間優美子と申します。よろしくお願いたします。

私のおすすめスポットは、三条市にあるトリムの森です。毎年6月にクラフトフェアが開かれているので知っている方も多いと思います。緑が多く広いので、休日にはバーベキューをする方や犬の散歩をする方もたくさんいらっしゃって楽しそうです。少し離れたところにある階段を上ると忍者櫓やローラースライダーがあり、子供が小さい時よく遊びに行きました。

四季折々楽しめますので、みなさん行って下さい。



会員 浅間 優美子（三条市在住）



↑地図上部の緑のエリアがトリムの森

出典：三条市総合運動公園HPより

第3回ガイド研修

日時 平成29年7月10日（月）8：30～17：15

場所 阿賀野川河川事務所満願寺出張所（新潟市秋葉区）→北方文化博物館（新潟市江南区）→東北電力（株）東新潟火力発電所・PR施設「はまなす館」（聖籠町）

参加 19名

最初の見学地は阿賀野川と小阿賀野川の間にある阿賀野川河川事務所満願寺出張所へ行き、小柳出張所長より満願寺閘門、小阿賀樋門、阿賀野川基準点標石、沢海床固を案内していただきました。大河津分水路と同じように越後平野を洪水から守る重要な役割を担っていることがよく分かりました。

次の見学地は出張所からすぐ近い場所にある北方文化博物館。豪農の館と見事な庭園を見学し、敷地内にある「みそ蔵」にてハス池を眺めながらの昼食。そのあと東新潟火力発電所へ向かい、アテンダントから施設内を巡りながら発電に関するさまざまな情報を解説していただきました。世界に誇る高効率発電ユニットがあることを今回初めて知りました。発電の複雑な仕組みを分かりやすく説明してもらい、質問に対しても丁寧で的確な対応で、同じガイドする者として、とても勉強になりました。充実した内容で大変ためになる研修となりました。（事務局）



↑満願寺出張所操作室にて

↓阿賀野川基準点標石



↑北方文化博物館 伊藤邸大広間からの庭園



↑東新潟火力発電所

パナマ運河拡張工事のニュース

パナマ運河拡張工事が完成したというニュースが入ってきた。

私たち友の会の会員としては、パナマ運河と聞けば、大河津分水補修工事の時の新潟土木出張所長 青山 士のことを思い出し、何となく親しみを覚えるのである。ではそのパナマ運河のことをどのくらい知っているかと言えば、実際はあまり知らないというのが実情ではないだろうか。そこでそのニュースも入れて少し紹介しよう。

パナマ運河とは、北アメリカと南アメリカの間にある細長い陸地（地峡という）に開削された運河であり、それにより大西洋と太平洋が航路としてつながったのである、とは誰でもご存じであろう。しかもわが大河津分水は東洋ではそれに肩を並べる人工水路であるということも。もっとも向こうは運河でしょ、こちらは洪水を流す水路でしょ、比較になりますか、という声もあるかもしれない。いやいやパナマ運河とは一つの海面からもう一つの海面に水平な水面でつないでいるわけではない。間には山脈があり、水面は26mも持ち上がっているのだ。これに比べ大河津分水は約15mの落差で海面に水を流すのだ。いくつかの項目について両者の違いを表1で比較しよう。なお、工事期間については、実質的に順調に工事が行われた期間を採用した。

表1

項目	大河津分水路	パナマ運河
長さ	10 km	80 km
工事年度（期間）	1909-1922（13年）	1903-1914（11年）
土工量	23.8百万立方メートル	3.95億立方メートル
犠牲者数	83名	20,000名以上

この表を見ると両工事はほぼ同時代に行われていることが分かる。工事の規模を土工量で見るとパナマ運河の方が圧倒的に大規模である。これはすなわち、蒸気機関による機械施工の点でパナマ運河の方が先んじていたことを示しており、日本ではこの工事等により、機械土工の時代に足を踏み入れたことを示している。

ところでパナマ運河の拡張工事である。これは1914年完成の運河が時代の変遷とともに、大型化する貨物船、油送船に対応しきれなくなったために挙行されたものであり、現行の閘門と水路に並行して大型の水路を造成し、新たに大型の閘門を6基作る計画として、工期は2007年9月から2016年6月で完成させた。その間土工量は24.9百万立方メートルだったという。この工事には建設費52.5億ドル（5,775億円）かかったと報じられている。

この最後の1行まで来て、私は首をかしげるのである。そもそもこの拡張計画には、パナマ、米国、日本の三国の代表からなる代替案調査委員会による検討が1986年2月から1993年10月まで行われたという。ところが工事の完了紹介記事（Civil Engineering June 2017）には、施工者、コンサルタントが数多く、しかも多数の国にかけて、列挙されているものの、アジアでは韓国の1社だけであり、日本からは全く見当たらない。これはなぜだろうか。

好評『押し花で作るしおり講座』開催しました

日時：平成29年6月24日（土）10：00～11：30

講師 田辺 加代子 先生

場所：信濃川大河津資料館3F 情報ライブラリー

参加者：14名

5月に開催しました『川の花で作る押し花講座』で作った押し花を使って“しおり”を作る講座を開催しました。初めて参加した方には、事務局の斉藤久美さんが作り溜めておいた押し花を用意して作っていただきました。今回の講座では、参加者の皆さんにご協力いただいて、資料館用のしおりを制作してもらいました。そのしおりは来館者された方に、ご自由にお持ち帰りいただく用として資料館入口に置いたところ、その日にのうちに、ほとんど無くなってしまふほどの人気ぶり。しおり、講座どちらも大好評をいただけ、大変嬉しいです。現在は来年度に向けて新たな講座を思案中です。（事業部）



第2回ガイド研修

日時 平成29年6月17日(土) 9:00~12:00

場所 信濃川大河津資料館2F多目的ホール

参加 17名

資料館案内マニュアルについての研修に引き続き、避難訓練・消火訓練を実施しました。資料館2F多目的トイレから出火したという想定で開始。参加者には来館者役として、それぞれの階でスタンバイしてもらいました。避難・消火訓練終了後、分水消防署の方から、火災発見後、初期消火のために使用した消火器は避難する際、その場に残したままにしないといけないそうです。その理由は、消防隊員が消火後に出火元を断定する際、目印となるためとのことです。いざという時のために覚えておきましょう。(事務局・支援部)



信濃川クリーン作戦

日時 平成29年6月17日(土) 13:00~14:00

場所 信濃川大河津資料館周辺及び本川橋下流

参加 14名



今回はあまりゴミが落ちていなかったのですが、ゴミ袋いっぱいにはなりませんでしたが、ゴミが少ない状態が維持されることが大切ですね。ご協力いただき、ありがとうございました。(支援部)

庭木の剪定

日時 平成29年6月17日(土) 14:00~15:00

場所 信濃川大河津資料館敷地内

参加 13名

初めて参加してくれた方を加え行った剪定は手際よく作業が進みました。伸びきった枝が整えられスッキリしました。暑い中、ご協力いただいた皆さん、お疲れ様でした。(支援部)



NEW



レンタサイクルキッズ用自転車2台増台しました!

大人用の自転車5台のみでしたが、8月から新たに22インチのキッズ用自転車を増やしました。ファミリーで資料館周辺散策に最適です。ご利用は必ず保護者同伴となります。ヘルメットも用意したのでご希望に応じて貸し出します。ご利用の際は資料館1F受付へお声がけください。ご家族でサイクリングいかがですか♪

信濃川大河津資料館『夏の特別展』のお知らせ

大河津分水の生き物たち

期間 平成29年7月4日(火)~9月24日(日)

会場 信濃川大河津資料館 2F企画展示スペース

特別講座『大人のための生き物観察会』

▶ 第1回-魚編- **【終了しました】**

日時:平成29年7月30日(日)

▶ 第2回-野鳥・植物編-

日時:平成29年9月 2日(土) 14:00~16:00

集合:信濃川大河津資料館 料金:無料

講師:横山美津子さん(長岡野鳥の会)

中野雅子さん(じねんじよ会)

柄澤英理子さん(じねんじよ会)



大河津分水周辺で見られる魚を中心に水槽や標本で約30種類の生き物たちを紹介しています。

※お申込みは信濃川河川事務所総務課へ TEL:0258-32-3020

【予告】『秋の特別展~大河津分水の計画~』10月~12月開催

日帰り県内河川探訪 『～羽越水害から50年～胎内川のダムとリゾートエリア』

羽越水害から今年で50年。羽越水害で氾濫した河川の一つ、胎内川の総合開発事業として建設が進む奥胎内ダム建設現場の視察と胎内川が形成した河岸段丘、胎内平に広がるリゾートエリアを巡ります。

(事業部)

日時 平成29年9月14日(木) 8:30～17:45

定員 20名

参加費 3,000円(昼食代・入館料込み)

※参加ご希望の方は9月1日(金)までに事務局へお申込みください。

- ▶行程
- 8:30 大川津ふれあいセンター発
 - 10:20 奥胎内ヒュッテ
 - 10:30 奥胎内ダム建設現場
 - 12:40 【昼食】ロイヤル胎内パークホテル
レストラン「MISAGO」
周辺散策
 - 14:00 胎内高原ビール園
製造工程見学&ショッピング
 - 15:30 シンクルトン記念館・石油公園
 - 17:45 大川津ふれあいセンター着

サケまつり

昨年終了とお知らせしました『サケまつり』。なんと今年も開催することになりました!!とても美味しいと好評のサケ汁と新米コシヒカリおにぎりを先着100食、無料で振る舞います。信濃川の恵み、自然の恵みを味わいに、ぜひお越しください。事前申込みは不要です。(事業部)

日時 平成29年10月14日(土)
11:30～

場所 信濃川大河津資料館前

※無くなり次第、終了とさせていただきます。



1泊2日県外河川探訪バスツアー 『建設が進むハツ場ダム探索』

群馬県にあるハツ場ダム本体建設工場の現地を見学します。宿泊地は伊香保温泉に決まりました。バス座席数の関係で定員数を少し増やしました。定員まで残りあとわずかです。興味のある方は、ぜひお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。(事業部)

日時 平成29年10月28日(土)～29日(日)

費用 1人約20,000円

定員 約40名(宿泊は4～6人部屋です)

※行程の詳細は参加者へ別途お知らせします。

大河津分水講演会2017

今年の大河津分水講演会は『横田切れから120年を越えて 未来の河川防災を知る』と題して開催します。

日時 平成29年11月19日(日)
午後2時～午後5時10分

場所 燕三条地場産振興センター(三条市)
リサーチコア・マルチメディアホール

参加費 無料

定員 180名

交流会 『レストラン メッセピア』参加費5,000円

※お申込みご希望の方は事務局までご連絡ください。

- ▶プログラム
- 14:00～ 開会
 - 14:20～ 「(仮)超過洪水に対応するには」
講師 玉井 信行 氏(東京大学名誉教授)
 - 15:20～ 休憩
 - 15:40～ 「昔の洪水と現代の出水から、未来の洪水を考える」
講師 早川 典生 氏(友の会理事長)
 - 16:20～ (予定)「(仮)大河津分水路改修工事」
講師 信濃川河川事務所
 - 17:00～ 閉会
 - 17:30～ 交流会 レストラン メッセピア

◀編集後記▶

◆資料館入って左側に休憩室があるのをご存知ですか? 現在、部屋の一角にキッズスペースを設けています。特に夏休み期間は親子連れのお客さんが多いので、大人だけでなく子供も親しんでもらえるよう設置しました。絵本と手作りペーパークラフトのおもちゃなどあります。見学後に無料の麦茶を飲みながらひと休みできますよ。お客さんの反応も良く、小さなお子さんの楽しそうな声が響いています(^_^♪ (E)



◀事務局連絡先▶

〒959-0123 燕市大川津1215-7
TEL 090-2673-6596(事務局長)
080-9876-3683(事務局)
FAX 0256-97-3682
e-mail ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp
<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>

